

弘前大学農学生命科学部地域環境科学科農業土木プログラム
第1回外部委員会（教育目標評価委員会・教育システム改善委員会）合同会議 記録

日時：平成15年12月20日（土） 13：30～16：30

場所：農学生命科学部445室

出席者：〔外部委員〕 山形, 笹森, 田中, 砂沢, 櫻田(隆), 桜田(清), 山田

〔プログラム教官〕 万木, 工藤, 佐々木, 泉, 角野, 加藤, 谷口, 高橋, 桧垣, 藤崎

進行：工藤

記録：藤崎

議題

1. 農業土木プログラムの概要

プログラム教官より資料に基づき説明があり、

- ・シラバスは講義概要、ポートフォリオは学生個人ごとの学習履歴である
- ・学習・教育目標に対する学生評価の平均点は、それぞれの目標に対応した授業科目とその重みを定め、加重平均して算定する
- ・平均点3.0以上という水準は、認定校などで用いられており、過去の学生成績に基づくシミュレーションでは、ほとんどの学生が達成可能である
- ・JABEE プログラムと地域環境プログラムとでは、必修科目や選択科目に違いはあるものの、基本的にはほぼ同じ授業科目を履修する
- ・プログラム選択に対し、JABEE 認定の意義などを学生に十分ガイダンスし、学生に学業成績を自己評価させ、自主的な判断ができるよう指導している
- ・一度、プログラムを選択した後、途中でのプログラム変更はできない

との補足説明を加え、プログラムの概要について、外部委員に一通り内容の理解を得た。

また、学生評価に関し、外部委員から

- ・ISO では、スキルマップを用いて、個人を総合評価している
- ・授業成績評価に際し、科目間や教官間でのバラツキが気になる

という指摘があり、これを踏まえて、次回の外部委員会に向けて、

- ・出席点の取り扱いやシラバスの記載内容などについて、科目の特徴を考慮しながらプログラム教官で検討していく

こととなった。

2. JABEE 受審の取り組み状況

プログラム教官より資料に基づき説明があり、

- ・来年度受審を目指しており、春の審査の申請を受け、JABEE が審査委員会を編成、秋に実施審査、12月頃審査結果が判明する見通しである。また、合格には、5年間の認定と2年間の条件付認定もある
- ・認定が、個々の学生ではなく、教育システムに対し行われる
- ・認定される学生は、受審し認定された年度の卒業生からとの認識であるが、遡及について不明な点もあるので、確認しておく

との補足説明を加え、了承された。

3. 委員会規則

プログラム教官より資料に基づき説明があり、

- ・この委員会は恒常的なもので JABEE の受審が終われば解散するものではない
- ・教育システム改善委員会の開催頻度について年2回程度を目安に、書面によるやりとりも含めて考えている

との補足説明を加え、委員会規則について了承された。

4. 委員会相互の関連性

プログラム教官より資料に基づき説明があり了承された。

5. JABEEに関する学生・卒業生アンケート調査結果

プログラム教官より、学生に対し新入生ガイダンスや基礎ゼミナールでプログラムについて十分説明した上での調査であるとの補足を含め、資料に基づき説明があり、了承された。

6. 卒業生の取得資格の現状

プログラム教官より資料に基づき説明があり、了承された。

7. その他

特になし。

報告

プログラム教官より、今年 JABEE が非英語圏で初めてワシントンアコードの審査を受けていることが報告された。

※次回は、2月下旬から3月上旬あたりの土曜日。

合同開催か時間をずらして開催かを含めて、後日連絡。